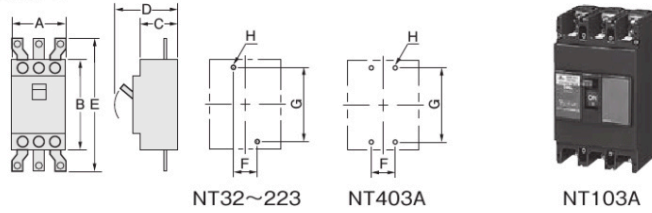


# NT ノントリップスイッチ

ブレーカ・  
サーキット  
ブレーカ  
漏電  
ブレーカ  
感震  
ブレーカー  
プラグイン  
ブレーカ  
オプション  
付属装置  
ブレーカ  
開閉器  
オートリセット  
ブレーカ  
エンジン  
ブレーカ  
スカー  
スイッチ  
端子台  
電力計測  
ユニット  
放電検出  
ユニット

●ノントリップスイッチは経済形サーキットブレーカ(NE)から引外し素子を除いた開閉器です。

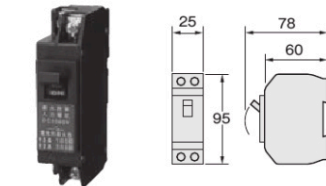


納期区分	品名記号			標準価格 円	定格使用電圧	外形寸法 mm					取付穴明寸法 mm		
	形式番号	極数	定格電流			A	B	C	D	E	F	G	H
◎	NT32(協約形)	2P	30A	3,200	AC 460V DC 125V	50	98	60	78	—	—	84	M4
◎	NT33(協約形)	3P	30A	4,350		75					25		
◎	NT52XA(スリム)	2P	30A	3,000	AC 250V DC 125V	25	95	60	78	—	—	104	M4
◎	NT52A	2P	50A	6,650	AC 460V DC 250V	50	130	68	90	—	—	111	M4
◎	NT53A	3P	50A	8,300		75					25		
◎	NT62A	2P	60A	6,650		50					—		
◎	NT63A	3P	60A	8,300		75	25						
◎	NT102A	2P	100A	14,500	AC 550V DC 250V	60	155	68	88	—	—	132	M4
◎	NT103A	3P	100A	15,500		90					30		
◎	NT222	2P	225A	31,000		105					35		
◎	NT223	3P	225A	33,000		165	68	90	—	—	126	M4	
◎	NT403A	3P	400A	70,500		140	257	103	130.5	343	44	194	M6

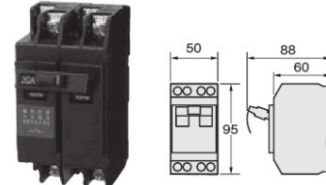
## NT-D 太陽光発電用 直流開閉器

協約形サイズで最大許容入力電圧DC750V・1000V仕様を実現

- 太陽電池からの接続は信頼性が高い圧着端子方式を採用しています。
- 開閉器は通電中でもハンドル操作を安全に行うことができます。  
(断路器および断路端子台は通電中のハンドル操作を行うことはできません。)



NT32D10HA  
2P 15A



NT34D10HA  
4P 20A

単位：mm

### ●協約形サイズ(最大許容入力電圧DC750Vタイプ)

1コ入				省梱包仕様品				極数	定格電流	定格電圧	最大許容入力電圧	
納期区分	品名記号 形式番号	標準価格 円 (1コ入)	主な付属品	納期区分	品名記号 形式番号	セット内容	標準価格 円					
(受)	NT32DH	5,940	取付金具	◎	NT32DH-P	20コ入	90,300	—※1	2P	15A	DC500V	DC750V

※1. 取付金具は付属していませんので別途お問い合わせください。協約形取付台 (BP31) (746頁)、レールホルダセット (NA7050X) (869頁) へも取付可能です。

### ●協約形サイズ(最大許容入力電圧DC1000Vタイプ)

1コ入				省梱包仕様品				極数	定格電流	定格電圧	最大許容入力電圧	旧品名記号	
納期区分	品名記号 形式番号	標準価格 円 (1コ入)	主な付属品	納期区分	品名記号 形式番号	セット内容	標準価格 円						
◎	NT32D10HA	7,120	取付金具	◎	NT32D10HA-P	20コ入	90,500	※2	2P	15A※3	DC1000V	DC1000V	NT32D10H(-P)
◎	NT34D10HA	13,600	取付金具	◎	NT34D10HA-P	10コ入	96,000	※2	4P	20A	DC1000V	DC1000V	—

※2. 取付金具は付属していませんので別途お問い合わせください。

※3. 通電開閉耐久回数は100回(なるべく無誘導)です。定格電流12Aで使用した場合は通電開閉耐久回数は300回となります。

■上記商品は、2023年4月より仕様変更(定格電流の向上)、品名記号の変更をさせていただきましたのでご了承ください。

ご注意 電源線の配線時は、端末部に適切な絶縁処理を施してください。

協約形取付台、レールホルダセットには取り付けできません。

#### ⚠ 注意

- NT32DHおよびNT32D10HAは、非接地回路用です。直流電路を片側接地する場合は、使用しないでください。開閉できない場合や異常発熱のおそれがあります。
- システム電圧(最大許容入力電圧)が600Vを超える場合は、システム電圧に対応した電線を選択してください。
- 接続箱内の温度検証をおこなってください。
- 日射やダイオードによる発熱で内部機器が不要動作や故障するおそれがあります。